【参考】学習過程の比較

<table>
<tr><td>現行の市民科の展開</td><td>ステップ１　把握
〈課題発見/把握〉
課題にかかわる意識調査や話し合う活動を通して、自己の生活と行動を振り返り、解決すべき問題点や社会的背景を把握する。</td><td>ステップ２　認識
〈知識/価値/心情〉
交流・協議しながら、多面的・多角的に各自の判断基準を捉え直すとともに、心情を深め、解決するための行為・行動の意義や価値について認識する。</td><td>ステップ３　習得
〈スキルトレーニング
体験活動〉
体験的な学習を通して、認識した価値を実践につなげる態度を養うとともに、課題解決に向けた具体的な対処方法、技能を習得する。</td><td>ステップ４　実践
〈日常実践/活用〉
ステップ３までに学習した正しい知識や習得した技能を、学校・家庭・地域で実践・活用する。授業時数には含まない。</td><td>ステップ５　深化
〈評価/深化〉
ステップ４での実践を振り返り、単元を通した自己の内面や行為・行動の変容について評価するとともに、社会的存在としての生き方について考えを深める。</td></tr>
<tr><td>道徳科の基本的な展開
〈参考〉
道徳教育
・自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
道徳科
・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</td><td>導入
主題に対する児童・生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己をみつめる動機付けを図る段階。</td><td colspan="3">展開
ねらいを達成するための中心となる段階であり、中心的な教材によって、児童・生徒一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ（、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深め）る段階。（道徳的価値を生徒自らが自分のこととして捉え、道徳的価値を自分の生活に生かしていこうとする思いや課題が培われることが必要。）</td><td>終末
ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認したりして、今後の発展につなぐ段階。</td></tr>
</table>

特別活動 学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画の学習過程（例）	**①問題の発見・確認** 学級や学校における生活上の諸課題から課題を見いだし、議題を学級全員で決定する。課題解決の必要性を共有するとともに、話合いの計画を立て、解決に向けての自分の考えをもつ。	**②解決方法等の話合い** よりよい生活づくりのために、取り組む内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、くらべ合ったりしながら話し合う。	**③解決方法の決定** 意見の違いや多様性を認め合い、折り合いを付けるなど集団としての考えをまとめたり決めたりして「合意形成」を図る。	**④決めたことの実践** 決定したことについて、自己の役割を果たしたり、互いのよさを生かして協働したりして実践する。	**⑤振り返り** 一連の実践の成果や課題を振り返り、結果を分析し成長を実感したり、次の課題解決に生かしたりするなど、実践の継続や新たな課題の発見につなげる。
特別活動 学級活動（２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（３）一人一人のキャリア形成と自己実現の学習過程（例）	**①問題の発見・確認** 日常生活における共通の問題から教師が設定した題材について知り、自己の現状を理解したり、解決すべき自己の課題や将来に向けた自己の生き方に関する課題を見いだしたりする。	**②解決方法等の話合い** 題材について、共通の問題について確認し合い、原因や改善の必要性を探ったり、具体的な解決方法などを見付けたりするために話し合う。	**③解決方法の決定** 話合い活動で見付けた解決方法等を参考にし、自分に合った具体的な解決方法を決めるなど、「意思決定」する。	**④決めたことの実践** 意思決定した解決方法や活動内容について粘り強く実践する。	**⑤振り返り** 実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し、次の課題解決に生かす。実践の継続や新たな課題の発見につなげる。
総合的な学習の時間の基本的な展開	**①課題の設定** 日常生活社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見付ける。	**②情報の収集** そこにある具体的な問題について情報を収集する。	**③整理・分析** その情報を整理・分析したり、知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組む。	**④まとめ・表現** 明らかになった考えや意見などをまとめ・表現し、そこからまた新しい課題を見付け、更なる問題の解決をはじめるといった学習活動を発展的に繰り返していく。	・①②③④の過程を固定的に捉える必要はない。活動の順序が入れ替わったり、ある活動が重点的に行われたりする。